

平成 28 年 度

小・中学校における
租税教育実践報告

仙台南地区租税教育推進協議会



発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長
亘理町教育委員会
教育長 岩城敏夫

日頃、皆様方には仙台南地区租税教育推進協議会に対しまして、深いご理解とご協力ご支援を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

東日本大震災から丸6年を迎えますが、本協議会に属する2市2町の復旧・復興事業も順調に進捗しております。特にJR常磐線の浜吉田・相馬間が復旧し、仙台から相馬まで鉄道で繋がれたことは沿線住民にとりましては、この上ない喜びであると推察されます。

さて、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた経費の縮減や負担金等をめぐり、活発な議論が行われており、これらの経費のほとんどが税金で賄われるだけに国民の関心も一段と高まってきているようです。宮城県でも競技が開かれるだけに、県民にとりましても無関心ではいられない状況にあります。このことが家庭の中でも話題になれば、税に興味・関心が薄かった小・中学生の子どもたちにも税に対する関心が高まるのではないかと期待しております。

ところで、昨年11月9日（水）に亘理町中央公民館大ホールにおきまして、租税教育に関わる方々が一堂に会し「租税教育に関する研究発表会」が開催されました。

4校の発表者は学校の実態等を踏まえながら、税金の果たす役割の理解や租税に対する興味・関心を高めるための指導法の工夫などを研究主題に据え、児童・生徒の意識調査等を基に実態を詳細に把握しながら、主題に迫る実践研究を具体的に発表していただきました。また、税理士や税務署の方々を外部講師として招聘し租税教室を開催するなど、主題に迫る取り組みなどの紹介もありました。

今回の実践発表でも、小・中学校での租税教育の在り方や方向性に大きな示唆を与えてくれました。税の役割や必要性を理解することで、授業実践後に児童・生徒の税に対する認識が大きく変容し意識化が図られ、どの発表も内容的な広がりや深まりのある実践研究でした。

平成28年度小・中学校における租税教育実践報告書には、4校の素晴らしい内容の実践研究の歩みが掲載されておりますので、今後の租税教育を推進する上で、貴重な資料として大いに活用していただくことを願っております。

結びに、今年度の報告書を発刊するに当たり、発表していただきました4校の先生方のご協力を始め、仙台南税務署の皆様のご配慮とお力添え、そして多くの租税教育に関わる皆様方のご協力とご支援に心から感謝を申し上げ、挨拶といたします。

平成29年3月

目 次

1	仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ	1
2	平成28年度 租税教育推進協議会の主な活動状況	3
3	平成28年度 租税教育研究発表要項（順不同・敬称略）	
(1)	「税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践」	11
	～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～	
	名取市立 下増田小学校 教諭 手塚 英海	
(2)	「地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫」	17
	岩沼市立 岩沼中学校 教諭 武田 裕光	
(3)	「税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成」	22
	～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～	
	亘理町立 長瀬小学校 教諭 武田 清美	
(4)	「未来の納税者を育てる指導の一試み」	36
	～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～	
	山元町立 山下第二小学校 教諭 渡部 史郎	
(参考資料)	租税教育実践発表一覧	45
	平成28年度 仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿	51

1 仙台南地区租税教育推進協議会のあゆみ

(1) 設 立

この会は、仙台南地区の税務及び教育関係者が協力して、児童・生徒並びに社会人に対する租税教育を推進し、納税道義の高揚に必要な事項について協議し、また、連絡協調を図ることを目的としている。

当協議会は、昭和62年3月25日の設立準備委員会を経て、次の機関構成をもって、昭和62年5月25日に設立されている。

(2) 構成機関

構 成 機 関 名	
教 育 関 係 機 関	税 務 関 係 機 関
宮城県教育庁仙台教育事務所 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会 亘理町教育委員会 山元町教育委員会 各地区校長会	仙台南税務関係団体協議会 宮城県仙台南県税事務所 名取市役所 岩沼市役所 亘理町役場 山元町役場 仙台南税務署

(3) 事業内容

- イ 租税教育の計画策定
- ロ 児童・生徒の租税教育に関する座談会及び研究発表会の開催
- ハ 租税教室の開催
- ニ 税に関する作品募集の支援
- ホ 小・中学校における租税教育実践報告書の作成
- ヘ 租税教育用教材の提供
- ト 税を考える週間行事への協力

(4) 歴代会長

初代	昭和62年5月25日	～	平成元年6月13日	岩沼市教育委員会	教育長	遠藤	幸四郎
2代	平成元年6月13日	～	平成5年6月1日	名取市教育委員会	教育長	佐々木	健
3代	平成5年6月1日	～	平成8年10月15日	山元町教育委員会	教育長	菅野	丈治
4代	平成8年10月15日	～	平成13年6月8日	亶理町教育委員会	教育長	三品	堯明
5代	平成13年6月8日	～	平成14年12月31日	岩沼市教育委員会	教育長	砂金	勲
6代	平成15年1月1日	～	平成15年6月10日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
7代	平成15年6月10日	～	平成16年9月30日	名取市教育委員会	教育長	太田	洋一
8代	平成16年10月1日	～	平成17年6月2日	名取市教育委員会	教育長	阿部	哲男
9代	平成17年6月2日	～	平成19年3月31日	山元町教育委員会	教育長	佐々木	陽一郎
10代	平成19年5月10日	～	平成19年6月1日	山元町教育委員会	教育長	横山	俊二
11代	平成19年6月1日	～	平成21年6月1日	亶理町教育委員会	教育長	鈴木	光範
12代	平成21年6月1日	～	平成23年6月24日	岩沼市教育委員会	教育長	影山	一郎
13代	平成23年6月24日	～	平成25年6月20日	名取市教育委員会	教育長	丸山	春夫
14代	平成25年6月20日	～	平成27年6月26日	山元町教育委員会	教育長	森	憲一
15代	平成27年6月26日	～		亶理町教育委員会	教育長	岩城	敏夫

2 平成28年度 租税教育推進協議会の主な活動状況

○ 児童・生徒の租税教育に関する座談会

(内容) 研究発表会に向け、児童・生徒の租税教育に直接携わっている教員同士の意見交換を分科会方式で実施した。

年 月 日	平成28年 8 月 18 日 (木)
場 所	岩沼市中央公民館
出 席 者	仙台南地区租税教育推進協議会役員 教育関係者・関係民間団体・税務関係官庁 平成27年度、平成28年度、平成29年度研究発表 (予定) 校

○ 租税教育に関する研究発表会

(内容) 研究発表指定校の教員が、租税教育に関する研究内容を発表した。

年 月 日	平成28年11月 9 日 (水)
場 所	亶理町中央公民館
発 表 者	名取市立 下増田小学校 教 諭 手塚 英海 岩沼市立 岩沼中学校 教 諭 武田 裕光 亶理町立 長瀬小学校 教 諭 武田 清美 山元町立 山下第二小学校 教 諭 渡部 史郎

児童・生徒の租税教育に関する座談会

開催日 平成28年8月18日(木)
開催場所 岩沼市中央公民館



会長あいさつ: 亶理町教育委員会
岩城 敏夫 教育長



顧問あいさつ: 仙台南税務署
佐々木 伸 署長



座長: 亶理町教育委員会
鈴木 邦彦 教育次長兼学務課長



経験談発表: 名取市立 関上中学校
荒川 美貴 教諭



経験談発表: 岩沼市立 岩沼南小学校
(現 名取市立 増田西小学校)
丸谷 由浩 教諭



経験談発表: 亶理町立 吉田中学校
妹尾 文男 教諭



経験談発表:山元町立 坂元小学校
(現 巨理町立 逢隈小学校)
佐竹 聡子 教諭



副会長あいさつ:公益社団法人 仙台南法人会
相澤 十四男 会長



第一分科会



第二分科会



第三分科会



座談会 会場

租税教育に関する研究発表会

開催日 平成28年11月9日(水)
開催場所 巨理町中央公民館



会長あいさつ:巨理町教育委員会
岩城 敏夫 教育長



祝辞:巨理町
齋藤 貞 町長



発表:名取市立 下増田小学校
手塚 英海 教諭



発表:岩沼市立 岩沼中学校
武田 裕光 教諭



発表:巨理町立 長瀬小学校
武田 清美 教諭



発表:山元町立 山下第二小学校
渡部 史郎 教諭



講評: 仙台教育事務所
石川 寛之 主幹(指導主事)



感謝状贈呈



記念品贈呈: 仙台南間税会



研究発表会 会場

平成28年度 租税教育に関する研究発表者

開催日 平成28年11月9日(水)

開催場所 亘理町中央公民館



名取市立 下増田小学校

教諭 手塚 英海

「税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践」
～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～



岩沼市立 岩沼中学校

教諭 武田 裕光

「地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫」



亘理町立 長瀬小学校

教諭 武田 清美

「税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成」
～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～



山元町立 山下第二小学校

教諭 渡部 史郎

「未来の納税者を育てる指導の一試み」
～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～

平成28年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立下増田小学校

教諭 手塚 英海

1 研究主題

税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践
～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～

2 主題設定の理由

下増田小学校は年々児童数が増えており、一昨年には税金で賄われ、新校舎が建てられた。また、名取市の震災からの復興に、税金が使われている。6年2組の児童は、教科書や公園、信号など身の回りに税金を使って作られた物があることを理解している。また、消費税や車税など、身近な物に税金が掛けられていることを知っている児童が多い。しかし、「租税」や「納税」という言葉を税金の種類と思っていたり、「納税者は誰か」という質問に「国」と答えたりするなど、正しい知識が身に付けているとは言えない。

これらの実態と、「税金の種類」や「税金の歴史」、「税金の使い道」など、税金についてもっと詳しく知りたいという児童の思いを踏まえて、自ら課題を設定して調べていく学習を取り入れることにした。受け身になって学習するのではなく、自分で課題を決めて目的意識をもって主体的に調べていくことで、税金に対する知識がより定着し、税金は「払わされるもの」ではなく「納めるもの」という健全な納税者の認識を得られると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税に関する基本的な知識を身に付けた上で、児童自らが、より深く探求したい課題を設定し、調べたことを新聞にまとめたり、発表し合ったりすることで、将来正しく納税しようとする意識を高められるような指導法を探る。

4 研究の方法

- (1) 租税教室を受け、税に関する基本的な内容を学ぶ。
- (2) 税金に対する実態調査を行う。
- (3) 「わたしたちのくらしと税金」を活用し、租税教室で学んだことを生かしながら学習する。
- (4) 似たような課題を設定した児童同士でグループをつくり、インターネットや書籍を使って調査し、模造紙に新聞形式でまとめる。
- (5) グループ毎にまとめたことを発表し合い、調べた内容を共有する。
- (6) 事後調査を行い、税金に対する意識の変容をみる。

5 研究の計画

6月	租税教室 講師(公社)仙台南法人会青年部会 高橋建隆朗氏
9月	事前実態調査
10月	実践授業
11月	実践授業, 事後実態調査, 研究のまとめ, 発表

6 研究の概要

(1) 児童の実態(平成28年度6年2組 男子19名 女子14名 計33名)

実態調査の結果は次の通りである。(平成28年度9月実施)

Q1 税金にはどのような種類があると思いますか。(複数回答)

- ・消費税(21) ・車税(12) ・たばこ税(6) ・納税(4)
- ・酒税(4) ・住民税(4) ・市民税(3) ・取得税(2)
- ・やった税(2) ・租税(2) ・仕事関係の税(2) ・地方税(2)
- ・その他(国にはらう税 食べ物の税金 ポテトチップス税 入得税 給料から取られる税 法人税 入場税 土地の税)

Q2 税金はどのようなことに使われていると思いますか。(複数回答)

- ・教科書(6) ・公園(6) ・学校(5) ・教育(3)
- ・警察(2) ・建物(2) ・信号(2) ・道路(2)
- ・国を支えている人の給料(2)
- ・その他(分からない 病院 消防車 工事 ショッピングモール 生活保護 木 事故 オリンピック)

Q3 税金はだれがはらっていると思いますか。(複数回答)

- ・みんな(13) ・大人(6) ・物を買った人(3)
- ・分からない(3) ・ぼくたち(3) ・国(2)
- ・その他(市民 働いている人 偉い人 物を使った人 ほとんどの人)

Q4 税金は必要だと思いますか。

- ・必要(24) ・どちらかといえば必要(8)
- ・どちらかといえば必要ない(0) ・必要ない(1)

Q5 税金が「必要」な理由はなんですか。

- ・公園がなくなるから(4) ・学校が建てられないから(3)
- ・店や会社がつぶれ, 不便になるから ・町が汚くなるから ・公共の場がなくなるから
- ・火事が起きた時に困るから ・木を植えられないから ・物の値段が高くなるから
- ・全て有料になるから ・成長するのが難しくなるから
- ・道路の整備ができないから ・保険がきかなくなり, 事故を起こすと大変だから

Q6 税金が「どちらかといえば必要」な理由はなんですか。
・払いたくない人もいるから ・教科書がなくなるから

Q7 税金が「必要ない」理由はなんですか。
・(税金について) 分からないから

①調査結果のまとめ

- ・商品、車、たばこ、酒など身近な物に税金が掛けられていることを理解している。
- ・学校、公園、教科書といった身近な施設や物が税金によって賄われていることを理解している。
- ・納税者は国民全員と思っている児童が多いが、大人だけが税を納めていると思っている児童も少なからずいる。
- ・学校や公園が税金によって建設、維持されていることを理解していることから、税金は「必要」「どちらかといえば必要」と考えている児童がほとんどである。

②調査結果に対する考察

これまでの生活経験や6月の租税教室などにより、税金に関する基礎的な知識は備わっている。「やった税」を挙げたり、税金がなくなると「町が汚くなる」「火事が起きた時に困る(消防車や救急車の利用が有料)」と答えたりする児童がいることは、租税教室の内容が身に付いていることの表れであると考えられる。

しかし一方で、「納税」や「租税」といった言葉を税金の種類と考える児童や、納税者を「国」と答える児童がいる。さらに、後述する「税金についてどんなことをもっと学習したいか」という問いに対して、多くの児童が「税金の使い道」、「税金の歴史」、「外国の税制度」などを挙げ、租税教育への関心を示していることが分かる。そこで、本実践では自ら設定したテーマを主体的に調べることで、税金に対する知識や理解を深め、適切な納税意識を高めていきたい。

(2) 学習計画(総合的な学習の時間 計10時間扱い)

次	主な活動内容	時間
1	・租税教室に参加する。	1
	・租税に関する実態調査(事前)をする。 ・「わたしたちのくらしと税金」を活用して租税に関する基礎的な学習をする。	2
2	・各自調べたいテーマを設定し、書籍やインターネットを使って調べる。	3
	・調べた内容を新聞形式でまとめる。	2
3	・発表会を行い、調べた内容を共有する。	2
	・租税に関する実態調査(事後)をする。	

(3) 実践の概要

【第1次】

①租税教室

講師 (公社) 仙台南法人会青年部会 高橋建隆朗氏

テーマ ～税金について考えてみよう～

<ねらい>

- ・税金についての関心を高める。
- ・税金についての基本的な知識を身に付ける。

<内容>

- ・税制度の概要を、講師の方に教わる。
- ・アニメーションを見たり、1億円と同じ重さのコピーを持ったりと、体験的に税金について学習する。



②「わたしたちのくらしと税金」を使った授業

<ねらい>

- ・税金についての基本的な知識を思い出したり、新たに知識を身に付けたりする。
- ・税金についてもっと知りたいことを考える。

<内容>

- ・「わたしたちのくらしと税金」を使って、租税教室で学んだことを思い出す。
- ・税金について自分で調べていきたいことを考える。

【第2次】

①インターネットや書籍を使った調べ学習

<ねらい>

- ・自分で設定した課題について、目的意識をもって調べる。

<内容>

- ・税金についての課題を決定する。
- ・似たような課題を設定した児童同士でグループをつくり、インターネットと本を使って課題についての調べ学習を行う。



②調べた内容を基にした新聞づくり

<ねらい>

- ・調べた内容を新聞にまとめる活動を通して、租税に関する理解を深める。

<内容>

- ・読者が見やすいような、記事の書き方やレイアウトを考える。
- ・調べて得た情報を、模造紙に新聞形式でまとめる。

③新聞発表会を行い、調べた内容を共有する

<ねらい>

- ・新聞を発表し合うことで、グループ毎に調べた内容を共有し、知識を深める。

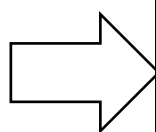
<内容>

- ・作った新聞を発表し合い、調べた内容を共有する。

④事後調査

Q1 税金は必要だと思いますか。

事前調査
必要 (24)
どちらかといえば必要 (8)
どちらかといえば必要でない (0)
必要ない (1)



事後調査
必要 (30)
どちらかといえば必要 (3)
どちらかといえば必要でない (0)
必要ない (0)

Q2 税金について学習した感想 (自由記述)

- ・消費税が上がっていやだと思ったけど、調べ学習で税金の使い道が分かり納得した。
- ・租税教室の「やった税」が心に残っている。
- ・大人になっても、ちゃんと税金を納めたいと思いました。
- ・税金の必要さが分かったけど、安いほうがいい。
- ・これからも自主勉強で税金のことを調べていきたい。

7 研究の成果と課題（○成果 ▲課題）

- 租税教育の導入を，租税教室で体験的に楽しく学習できたので，良いイメージをもちながら学習できた。教室の内容が児童の心にも残ったようである。
- コンパクトにまとまっている「わたしたちの暮らしと税金」があったので，租税教室から時間が空いてもスムーズに復習できた。
- 自分で課題を設定したことで，目的意識をもちながら税金に関して主体的に調べることができた。全員が意欲的に取り組んでいた。
- 租税教育を行った結果，税金は必要だと考える児童が増えた。
- 事後実態調査の自由記述で，「きちんと税を納めたい」と答える児童が少なからずいた。
- ▲租税教室の前に，児童の事前実態調査をすれば，児童の意識の変容が詳しく分かった。
- ▲更なる租税教育の充実を図るためには，社会科の1時間だけではなく，総合的な学習の時間などに租税教育に関連した内容を位置付け，租税教育として年間指導計画を整備していく必要がある。

平成28年度 租税教育に関する研究発表要項

岩沼市立岩沼中学校
教諭 武田 裕光

1 研究主題

地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫

2 主題設定の理由

(1) 単元（題材）について

本単元では、中学校学習指導要領社会編公民的分野2-(3)-イに示されている、地方自治の仕組み、地方財政の仕組み、住民の自治への参加などの学習を通して、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てることを目的とする。地域社会における住民の福祉の向上は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民が主体的に地方自治に参加することが大切である。すなわち、住民参加による住民自治が地方自治の根幹にある。地方自治への住民参加を可能とする権利や義務に関連させて、地方公共団体の政治がより住民に密接した仕組みであることを捉えさせたい。そして、地方財政の仕組みについて、身近な地方公共団体の歳入、歳出の内訳を広報等から具体的に取り上げ、限りある財源の配分について公正や効率の考え方にもとづいて捉えさせたい。その際、租税の意義と役割についておおまかな仕組みや特徴について触れ、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解させるとともに、税の負担者として租税の使いみちなどについて理解と関心を深めさせて納税者としての自覚を養い、納税意識の高揚を図る。さらに学習のまとめとして、市民＝将来の納税者としての立場から効率や公正の視点で主体的に身近な地域の課題解決に取り組もうとする学習を通して、住民としての自治意識の基礎を育てたい。

(2) 生徒の地方財政や租税の理解の実態について

質問1 将来も岩沼市で生活することを望んでいるか。

どちらかという望んでいる 35%

どちらかという望んでいない 65%

質問2 平成28年度岩沼市の歳入はいくらだと思うか。

約1800万円 15人

約18億円 14人

約180億円 5人

約1800億円 0人

質問3 岩沼市はどのようなことに予算を使っていると思うか。

公共施設の建設・補修 12人

道路の修理 6人

復興 7人

公務員の給料 1人

分からない 8人

質問4 税を納めることは大切なことだと思うか。

思う 32人

理由：納税は義務だから	11人
自分たちの住んでいる所をより良くしたいから	15人
税でゴミ処理や公共物の修理を行ったりしているから	3人

思わない 2人

理由：ない方が良くと思ったから	2人
-----------------	----

以上のアンケートの結果から、クラスの3分の2の生徒はあまり地元に着愛を持っていないとも感じられる結果が見えてきた。少子高齢化の進む中、岩沼市は若い世代が住みたいと思うまちづくりが今後の課題と捉えることができる。地方自治や地方財政の仕組みについては、生徒にとってほとんど分からないことばかりのようである。特に歳入の内訳では今年度、岩沼市は約180億円の歳入であるが、生徒の感覚としては約1800万円程度とっており、大きなズレがある。これは、税を納めることが義務であり、納めた税は住民の生活を良くするために使われているということは理解しているが、具体的な使いみちの知識が不十分なためであると考えられる。納税の義務を憲法の授業で学んだことから、税を納めることについてはほとんどの生徒が大切であると考えている。

(3) 指導にあたって

(2)の結果から、地方自治や地方財政、住民のもつ権利や義務を理解させ、住民参加による住民自治を、課題を解決する活動を通して考えさせたい。地方自治の理解のためには地方財政をしっかりと理解する必要があるため、市の広報(広報いわぬま2016年4月号)を活用して歳入や歳出のグラフから読み取り、関心を高めたい。その際、特に租税について税の種類や歴史に触れ、岩沼市の歳出の内訳から税が市民のために有効に使われていることを理解させ、納税意識の高揚を図りたいと考える。

アンケートから生徒の視点で見えてきた市の課題は、市の活性化であり、若い人が住みたいと思えるまちづくりと捉えることができる。そこで「新興住宅地の造成」という課題を仮定させて、生徒に市民＝納税者の立場で話し合う活動から、効率や公正など多角的な視点から物事を考えることの大切さに気付かせる。

3 研究目標

地方自治の学習を通して、租税の意義と役割を理解させる指導法を探る。

4 研究仮説

地方自治の学習を通して、その仕組みや財政、租税の使いみちを学べば、租税の意義や役割を理解できるだろう。

5 研究方法

- (1) 生徒に事前調査を実施し、実態を把握する。
- (2) 生徒の実態に基づき、「広報いわぬま」を活用した授業実践や租税のビデオ、課題解決学習を通して納税の意義や役割を理解させる授業実践を行う。

(3) 授業実践を通して、生徒の発言や記述内容から納税の意義や役割が理解できているか考察する。

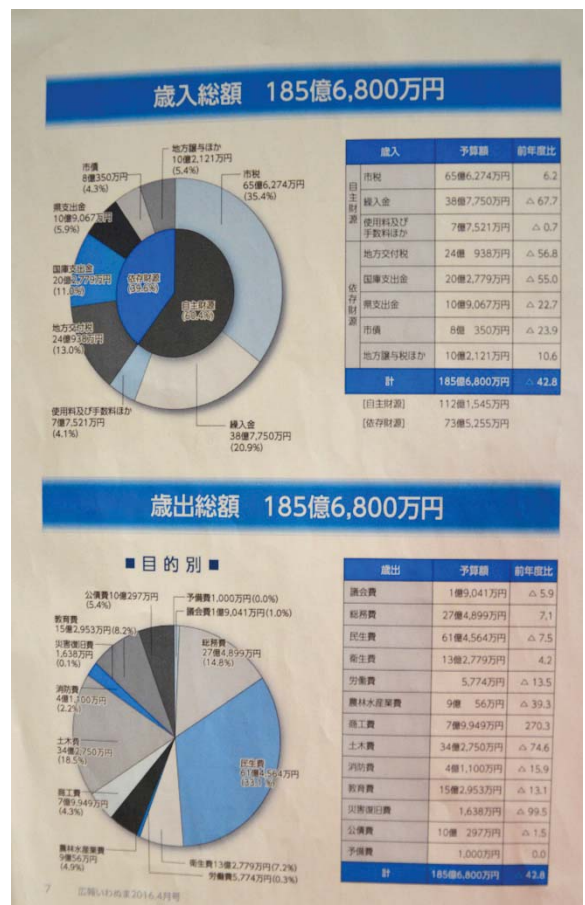
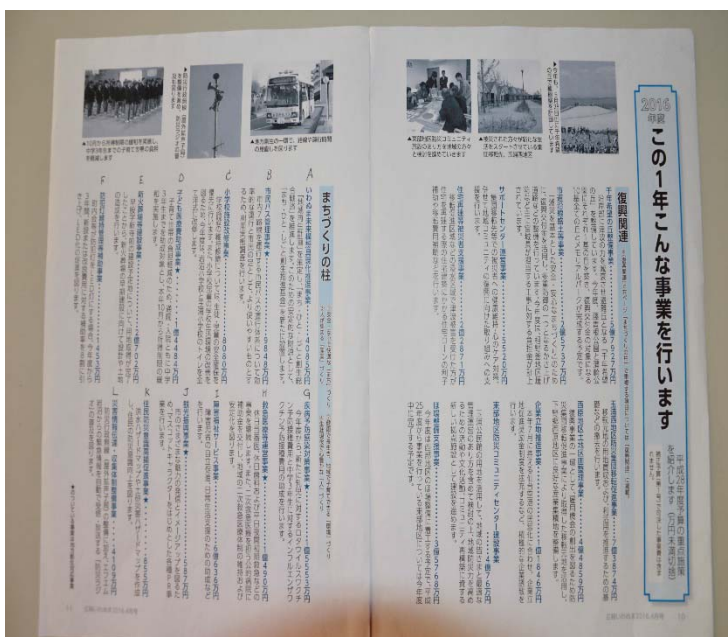
6 研究計画

2月10日(水)	租税教室
8月18日(木)	租税教育に関する座談会(岩沼市中央公民館)
9月20日(火)	事前調査(アンケート)
10月20日(木)	実践授業①広報いわぬまを活用し、地方自治に関心を持たせる
10月21日(金)	実践授業②地方自治の仕組みを理解させる
10月25日(火)	実践授業③地方財政の特色や課題を資料から読み取らせる
10月26日(水)	実践授業④税の種類や歴史、岩沼市の税の使い途を理解させ、税の役割や意義をDVD教材「アナザーワールド」を活用して考えさせる。
11月1日(火)	実践授業⑤新興住宅地建設を仮定した課題解決学習
11月9日(水)	租税教育に関する研究発表会(亶理中央公民館)

4 研究の概要

(1) 実践授業④

「広報いわぬま 2016. 4」を活用し、今年度の岩沼市の歳入、歳出を提示し、市税や地方交付税交付金、国庫支出金など、国税と比較をしながら歳入の内訳について説明した。また歳出について、今年度の市の重点政策や歳出項目を提示することによって、どのような使い方をしているか説明した。さらにDVD教材「アナザーワールド」を視聴させ、税がないとどのような世界になってしまうのか考えさせ、感想を書かせた。授業の前は37人のクラスのうち、26人が「税金なんてなければ良いのに」と考えていたのだが、学習を通して皆、税金の大切さに気付くことができた。



生徒の感想

- 学校に行けるのも、警察や消防署なども税金のおかげだと知ることができました。
- 税が国のために使われていることは知っていましたが、それが自分たちの生活にどれくらい必要なのかわかりました。
- 税金を払うのは嫌だなと思うけど、払わないと自分が困るんだとわかりました。
- 常に当たり前だと思っていることが、ほとんど税金からなっているんだと思った。



(2) 実践授業⑤

事前調査では将来も岩沼市に住み続けたいと考えている生徒は非常に少ないことが分かった。そこで、地方自治の単元のまとめとして、若い世代が住みたくなるまちづくりを考えるため、若い世代向けの「新興住宅地の造成」という課題を設定した。生徒は2つの造成地候補から、市民＝納税者の視点でお金（税金）や時間が無駄にならない案、多くの市民が納得できる案を話し合った。前時で今の暮らしを維持するために必要なものであることが分かった税金について、この学習活動を通して、自分たちの納めた税はどのように使われることが良いのかということまで考えさせることができた。さらに、地方自治に参加する姿勢として身近な地域の課題に対して、税金の使われ方や公正な結果の追求など複数の視点から自分のこととして積極的に解決しようとする姿勢が大切であることにも気付くことができた。

生徒の感想

- 他人事にせず、税金のことも含め、地方自治に少しでも貢献できるような大人になっていきたいと思った。
- 岩沼の政策や税の使われ方などを知り、理解を深めることが大切だと思いました。
- 地方自治と聞くとなんだか難しそうで疎遠になってしまいがちだけど、自分のために思い、積極的に市の政策や税のことについて知るべきだと思いました。
- 市の政策や税の使われ方に関心を持つことが第一で、それについて考え、一人の市民として行動していければ良いと思った。



6 研究の成果と課題

【 成果 】

さまざまな機会を捉えて租税教育を実施することが大切であると考え、今回は地方自治の学習の中に租税教育を位置づけるよう取り組んだ。地方自治という大きな学習課題の中で地方財政と関連させることで、カリキュラムの中に比較的無理なく租税教育を取り入れることができたと考ええる。特に実践授業④、⑤を通して、生徒が抽象的にルールとして「税は納めなければいけないもの」と考えていたことを、より具体的に、自分の暮らしや自分自身に身近なこととして考えられるように変容したと授業後の感想から感じた。身近な身のまわりの物事が税で維持されていること、地域に暮らす者として税の使い途にもっと関心を持つことなど、自分のこととして考えることができるようになったということができる。

【 課題 】

租税教育を地方自治の学習の中に位置付けるとともに、国の財政の学習で、再び租税について学習することで、さらに納税意識の高揚につなげることができると思う。各単元を見通して授業計画を立てていく中で、租税教育を意識的、計画的に配置する工夫をする必要がある。

平成28年度 租税教育に関する研究発表要項

亘理町立長瀬小学校
教諭 武田 清美

1 研究主題

税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成
～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～

2 主題設定の理由

本校では、第6学年の総合的な学習の時間に、社会環境をテーマとして「見つめようわたしたちの暮らし」という単元があり、「地球環境問題について調べよう」と「税金について調べよう」の2つの学習活動を設定している。

昨今、消費税の増税や東京オリンピックの開催費用について、税金の無駄遣いの問題など、税金に関わるニュースをテレビや新聞などで目にする事が多い。子どもたちも「税金」という言葉は何度も見聞きしているものの、正しい知識を身に付けている児童は少ない。また、税金は「取られるもの」というマイナスのイメージがあり、「納めるもの」という認識はほとんどないことから、税金の意義や役割を学習することは大切なことであると考え。そこで、税金について児童自ら課題をもち、調べる学習を展開することで、税金に対する興味関心を高め、更に税金の意義や役割を理解し、正しく納めようとする態度を育てることができないかと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税金に対する興味関心を高め、税金の意義や役割を理解し、正しく納めようとする態度を育成する指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税金に対する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 租税教室を通し、税金についての意義や役割を理解させる。
- (3) 税金に関する授業を展開し、さらに興味を高めさせる。
- (4) 個人で課題を設定し、インターネット等を活用して調べ、新聞にまとめる。
- (5) 発表会を行い、さらに理解を深める。
- (6) 事後調査を行い、変容を考察する。

5 研究の計画

平成28年 1月 (5学年時)	意識調査 租税教室①
平成28年 7月 9月 10月 11月 (6学年時)	実態調査 租税教室② 実践授業 事後調査 研究のまとめ 研究発表会

6 研究の概要

(1) 意識調査 (平成27年度 5年1組 男21名 女10名 計31名)

税に対するアンケート

平成27年1月実施

- ① 税金という言葉聞いたことがありますか。
ある…29名 ない…2名
- ② 税金にはどんなものがあるか知っていれば書いてください。(複数回答)
消費税17 無解答11 酒税 たばこ税 総理大臣に渡すお金 ガソリン
銀行で休みの日に下ろしたときにかかる 借金税? 国の税金 車の税金
車やバイクのローン 車検 株価税 納税 税込み 税抜き
- ③ 「税金」からイメージすることは何ですか。(複数回答)
無解答14 お金4 いろんな物が値上がりする4 国のために使われる3 高い
払わないと家の物が押収 日本の借金を返す 払わなきゃいけない 別に取りれる
警察にいる人に使う 良いことと悪いことに使われていそう 借金 英語でタックス
- ④ 税金を払う人はだれですか。(複数回答)
分からない8 親8 消費者5 大人4 国民2 働いている人 一般人 母
家庭の一番上の人 家の人 国 お店の人
- ⑤ 税金はどんなことに使われると思いますか。(複数回答)
分からない10 国のため7 外国のため2 天皇2 国の建築2 教科書
体の不自由な人の薬や手術 刑務所に入っている人 日本の借金を返すため 年寄り
がんばっている人のため ボランティア 物を買うとき 国民 利益 政治?

⑥ 税金は必要だと思いますか。

必要… 5 ・外国から借りているお金を返すため 2

- ・ほとんど外国からの輸入に頼っていて税金がないと借金が返せないから
- ・国の土地を返すため ・教科書がないと勉強できないから

どちらかといえば必要… 4 ・体の不自由な人が困るから ・国が成り立たないと思うから

- ・日本と外国との関わりでお金を使うから

- ・国や県で必要な物をみんなのお金で購入することができるから

必要ない… 4 ・物の値段が上がるから 2 ・なぜ払う必要があるか意味不明

- ・もらった人は得をし、払った人は得をしないから

分からない… 1 8 ・税金の意味が分からない 8

- ・どんなことに使われているか分からない 2

⑦ お家で税について話題にしたことがありますか。

ある… 1 1 ・消費税の話題 6 ・税金が高いと言っていた 2 ・車の話題の時 2

ない… 2 0

【考察】

- ・税金という言葉を知ったことがあっても、正しく認識している児童は大変少ないということが分かった。
- ・全体的に、無解答や「分からない」という解答が多く、「税金」そのものの認識がない児童が多いということが分かった。
- ・生活に密着している消費税については半数以上が意識していたが、銀行の手数料やローンなどを税金の一種と考えている児童も見られた。
- ・消費税のイメージが強いためか、「物が値上がりする」「別にとられる」というマイナスの考えをもつ児童が見られた一方で、「国のために使われている」等、国との関わりを意識している児童も見られた。
- ・家庭内で「税」について話題にしたことがある児童は、三分の一ほどであった。

以上のような児童の実態を踏まえ、まずは「税金とは何か」を知ることが第一であり、どのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させていきたい。また、家庭でも気軽に話題にできるような学習を展開していきたい。

(2) 指導計画

5 学年時 (学級活動 1 時間扱い)

段 階	主な学習内容	時 間
意識調査	・アンケートを実施し、児童の実態を把握する。	
①租税教室	・税金について知り、興味・関心を高める。	1

6 学年時（総合的な学習の時間 10 時間扱い）

段 階	主な学習内容	時 間
②事前調査	・昨年度の租税教室を受けての児童の実態を把握する。	
③税金について知ろう	・租税教室で税の種類や用途等について知る。	1
	・亘理町の今年度の予算や長瀨小学校に使われた復旧費について知る。	1
	・税金の集め方について知る。	1
④税金について調べよう	・さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。	1
	・課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。	2
	・調べたことを新聞にまとめる。	2
⑤調べたことを伝えよう	・発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。	2
事後調査	・児童の税についての変容をみる。	

(3) 実践の概要

【5 学年時】

①租税教室（平成28年1月28日）

仙台南間税会の方々にお出でいただき、基礎的な税金の役割について詳しく教えていただいた。また、DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の視聴により、税金がないとどんな世の中になってしまうかを知ることができ、税金の必要性を感じていた。さらに、1億円のレプリカを持ち、その重さを体感することで、お金に関する興味・関心を高めていた。



税金が使われているものは何だろうか？



1億円のレプリカの重みを感じる児童達。



【6学年時】

②事前調査（平成28年度 6年1組 男21名 女10名 計31名）

税に対する事前調査

平成28年7月実施

質問1 税金は必要ですか。 ①はい 30名 ②いいえ 1名

質問2 なぜそう思うのですか。

- ①→ ・分からない1 ・ないと困るから13
・いろいろなものにお金がかかるから11 ・安心平和だから2
・国のお金だから ・病院などが建てられるから ・緊急の時のため
②→ ・金額が高くなるから

質問3 どんな種類がありますか。（複数回答） ・分からない6

- ・消費税23 ・車税3 ・たばこ税2 ・酒税2 ・所得税
・食費税 ・国のお金 ・脱税 ・家のローン

質問4 税金は、何に使われますか。（複数回答） 分からない6

- ・警察や消防10 ・国で使う6 ・公園や道路3 ・信号3 ・通行費2
・病院や役所を建てる2 ・学校や教科書 ・土地 ・消費税

質問5 詳しく調べてみたいことはどんなことですか。

- ・税金の種類 ・税金を使う人払う人 ・税金は何に使われているのか。
・なぜ消費税が上がるのか。 ・なぜ税金ができたのか。

税金については、昨年度の「租税教室」を通し、「税金とは何か」「何に使われているか」「税金がないとどうなるか」を学習しているので、ほとんどの児童が必要を感じていた。その理由で「ないと困る」「お金がかかる」と答えている児童の中には、「救急車を呼ぶのにお金がかかる」のように具体的な用途を記述した児童もいた。しかし、税金の種類や使い道については「分からない」と答えている児童も見られ、中には、税金の種類に「脱税」や「家のローン」と記述した児童もいた。以上のような児童の実態から、「租税教室」等の学習を通して、税についての正しい知識を理解させる必要があると考えた。

③税金について知ろう（3時間）

【1時間目】租税教室（平成28年9月6日）

〈学習内容〉・税の種類や用途等について知る。

仙台南税務署の島脇さんより、事前調査で子どもたちが「詳しく調べてみたいこと」で

挙げた「税金の種類」「税金の使い道」「なぜ消費税が上がるのか」という内容に答える形で詳しくお話をしていただいた。

保護者の方にもぜひ参加してほしいと思いお便りで知らせたが、学年PTA行事と重なったこともあり、たった2名の参加者しかおらず、残念であった。



子供たちと保護者の感想より

どうして税金は上がるのかななどをくわしく教えてもらってよく分かりました。税の種類が50種類もあるということがびっくりしました。聞いたことがないものもあったし、その仕事についている人でも覚えるのが難しいということで、とても大変なんだと思いました。もっと税金に興味をもってたくさん勉強したいです。(児)

税金はいろいろな種類があってとてもすごいと思いました。税金を払うのは大変だけれど、いろいろなことに役立てられているので大切だと思いました。(児)

今日、租税教室を受けて、やっぱり税は大切だなと思いました。去年話を聞くまでは税の使い方などをよく分かってなかったけど、去年と今年で改めて大事だと分かりました。(児)

高齢者が増えて税金がものすごくかかっていることと、国は高額の借金をしていることが分かりました。(児)

大人にとっては当たり前の「税金」ですが、子供向けのビデオなどで分かりやすく教えていただけていました。家庭で話題にすることも少ないので、よい経験になったと思います。(親)

身近な消費税の使い道など、小学生のうちから「税金」に触れることはとても良いことだと思いました。(親)

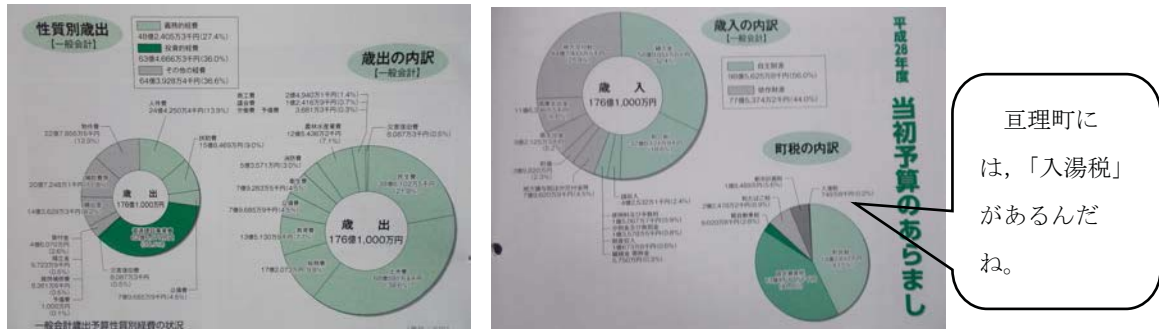
【2時間目】

〈学習内容〉・亘理町の今年度の予算や長瀨小学校に使われた復旧費について知る。

我が校は、震災の被災校であり、新校舎の建設や周辺環境の整備をはじめ、町の復興のために多額の税金が使われていることも理解させたいと考えた。そこで、長瀨小学校の建設にかかった費用は、約11億円であることを理解させた。

また、「広報わたり」を活用し、28年度の予算のあらましから、町税の内訳やどんなことに支出されているのかを調べ、話し合った。「災害復旧費」よりも「教育費」にかかるお金の方が多く、驚いていた。自分たちのためにたくさんのお金が使われていることを知り、

校舎や学校の物を大切にしようという気持ちが高まっていた。



【3時間目】

〈学習内容〉・税金の集め方について知る。

日本税理士会連合会で作成している「小学生向け講義用テキスト」を参照し、指導主事訪問に向けて、下記の指導過程を作成した。

指導に当たっては、以下のことに留意しながら授業を展開するようにした。

- ①「私たちが主人公」「思いやり」というキーワードと税金がどんなつながりをもっているかを一緒に考えながら進行させる。
- ②税金が私たちの生活を支えてくれる、なくてはならないものであり、私たちのために使われていることを確認する。
- ③税金を負担しているのが私たちであること、いろいろな集め方があることを確認する。
- ④ゲームを通して、児童に「課税の公平」について考えさせることにより、税金の主体者は私たちであることを体感させる。
- ⑤志教育との関連…「税金は私たちが支え、私たちが決めていく」こと、お互いを思いやる気持ちを大切にすることで、税が一層、社会のために役立つものになることを押さえさせる。【はたす】

段階	主な学習活動と児童の反応	指導上の留意点	5つの提言	準備物 *評価
導入	<p>1 本時のテーマを知る。</p> <p>私たちが主人公</p> <p>思いやり</p> <p>主人公ってどういうこと？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちが主人公」「思いやり」の二つのキーワードを板書し、「税金」とこれらの言葉がどのようなつながりをもつのかを一緒に考えていくことを伝える。 		キーワード
展開	<p>2 税金の使われ方を確認する。</p> <p>○私たちが生活していく上で必要な物は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家、食べ物、服など ・お金 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちが生活していくためには、「お金がかかること」、そのお金を得るためには「働く必要があること」を確認する。 	2	掲示物

<p>展 開</p>	<p>○お金を払わずに使ったり，お世話になったりしているものにはどんなものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校，公園，警察，消防など <p>3 税金の集め方について知る。</p> <p>○税金は誰から集めているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな ・私たち <p>○消費税の他にどんな税がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得税 ・たばこ税 ・酒税 ・重量税 ・法人税 など <p>4 税金の公平な集め方ゲームをする。</p> <div data-bbox="280 1200 810 1648" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈ゲームの概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このクラスを「武田国」とし，児童はその国の国民とする。 ・国民を6つの班に分ける。 ・6つの班の収入の合計を600万円とし，そのうち税金を180万円集めるとする。 ・いくらずつ集めればよいか考える。 ・「公平」に集めるよう考える。 </div> <p>(1) みんなから同じ金額を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの班で180万円あつめるのだから，各班30万円。 ・みんな同額なので「公平」 ・消費税は8%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これらに共通することを考えさせ，「みんなで使うもの」に使われているのが税金であることを確認する。 ・「消費税」は買い物をした人みんなが払う税金であることから，「私たち」から集めていることを確認する。 ・税金にはいろいろな集め方がある，私たちから様々な方法で集めていることを確認する。 ・「税金は私たちから集めて私たちのために使われている」という大きな仕組みをしっかりと押さえさせる。 ・収入の異なるグループから，どのようにして税金を公平に集めるかをみんなで考えさせる。 <div data-bbox="1139 1361 1206 1429" style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; text-align: center; margin: 10px auto;">1</div> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の収入が同額（各100万円）のケースで考えさせる。 ・30万円は100万円の30%という答えを導き出し，「税率」という概念を説明する。 	<p>掲示物</p> <p>例題用紙 ホワイトボード マーカー 計算機</p>
----------------	--	---	---

<p>展 開</p>	<p>(2) みんなから同じ率で集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30万円ずつだと払えない班が出てくる。 ・ 「同率30%」で集めてはどうか。 ・ みんな同率なので「公平」 <p>(3) 負担する能力に応じて集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活できない班が出てくる。 ・ 収入が多い班にはより多く負担してもらったらどうか。 <p>○これは公平だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさん持っている人がたくさん払うのは公平じゃない。 ・ 全部の班が生活できるのだから公平。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会では収入に違いがあるので、それぞれの班に異なる収入を割り振って考えさせる。 ・ 「この国で生活をするためには、最低20万円が必要である」という条件を付け足して考えさせる。 ・ 意見がでなければ、班ごとに税率を変えることを提案する。 ・ 様々な意見が出てても意見を否定せず、それぞれの考え方、感じ方があることを伝える。 ・ 「負担する能力に応じて公平」という考え方を話し、これが今の日本の所得税の考え方であることを伝える。 ・ 所得税は、所得が低い人への配慮（思いやり）があることを理解させる。 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; text-align: center; margin-left: auto; margin-right: auto;">2</div>	<p>* 「課税の公平」について考え、税金の主体者は私たちであることを理解することができたか。(行動観察・発言)</p>
<p>終 末</p>	<p>5 キーワードと税金との関係についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「税金は私たちが支え、私たちが決めていく」こと、お互いを思いやる気持ちを大切にすることで、税が一層、社会のために役立つものになることを押さえさせる。 <p style="text-align: center;">【はたす】</p>	<p>掲示物</p>

終 末	6 次時の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「国民主権」という言葉を知らせ、今後社会でも詳しく学習していくことを伝える。 ・もっと調べてみたいことを考え、課題を決定することを伝える。 	
--------	-------------	---	--



収入が少ないのに、たくさんの税金を納めるのは大変だ。生活できない。

武田国の 所得税

	収入	税率	税額
1班	250万円	40%	100万円
2班	150万円	35%	52.5万円
3班	100万円	20%	20万円
4班	50万円	15%	7.5万円
5班	30万円	10%	3万円
6班	20万円	0%	0万円
合計	600万円		183万円

負担する能力に応じて公平

④税金について調べよう（5時間）

【1時間目】

〈学習内容〉・さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。

「税金新聞」という形でまとめることを知らせた。その際、他校の児童が作成した新聞を数点例示し、参考にさせるようにした。

主な課題は以下の通りである。

- ・税金の種類
- ・税金の使い道
- ・税金の歴史
- ・世界の消費税
- ・世界の変った税金
- ・税金の集め方

【2・3時間目】

〈学習内容〉・課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。

主にインターネットを活用しての調べ学習となった。児童が参考としたホームページは、「国税庁ホームページ 税の学習コーナー」「財務省キッズコーナー ファイナンスランド」等である。調べていく過程で、新たに調べたいことが見つかった児童もあり、更に興味・関心を深めていく様子が見られた。

【4・5時間目】

〈学習内容〉・調べたことを新聞にまとめる。

これまでもいろいろな教科で新聞にまとめる活動を行ってきたので、特に混乱することもなくまとめの新聞を作成していた。



⑤調べたことを伝えよう。(2時間)

〈学習内容〉・発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。

個人で作成した新聞を、実物投影機で拡大し、友達と共有しながら発表会を行った。友達の発表を聞いて、「税金は弥生時代からあったと知ってびっくりした。」のような内容に関するものだけでなく、「グラフや4コマまんがを使って分かりやすくまとめていた。」のような新聞の出来映えに関する感想をもつ児童も見られた。



実物
投影機



新聞を拡大したことで、みんなで共有しながら進めることができました。

○税金は必要だと思いますか。

	事前調査（5学年時）	事後調査
必要	5名	30名
どちらかという必要	4名	1名
必要ではない	4名	0名
分からない	18名	0名

○学習後の児童の感想

みんなの発表を聞いて、税金は国、人、他にもたくさんの物に役立っているんだなと思いました。税金のおかげで、道路など生活に必要な物がつくられていて、ありがたいと思いました。自分が払った税金が、国や人の役に立ててうれしいです。税金のありがたさがよく分かりました。

税金のことをあまり知らないと、値段が高いとか思うけど、こうやって勉強してみて、税金はとても大切ということが分かりました。税金の種類はとても多くてびっくりしました。外国では、ふつうじゃありえないような税もあってびっくりしました。

税金を調べてみて、税金はとても大切なんだと分かりました。今まで、選挙なんてどうでもいいと思っていたのですが、選挙も大事だと分かりました。

税金のことを調べてみて、聞いたことのない名前の税があった。やはり、自分たちの身近な税は「消費税」だと感じた。そして外国と比べてみると、日本の消費税は少ないと思う。いろいろ調べて、税金はとても大切だと分かった。そして「物を大切にしよう」という思いが強くなった。

私は税金の学習をして、これからの未来が心配になってきました。最初は税金なんか知らないなあと感じていましたが、この学習をして税金がとても必要だということが感じられました。そして「公共サービス」のことがとても身近に感じられました。

税金の勉強を通して思ったことは、自分たちが使っている物（学校の物）が税金のおかげでただで使えるので、物を大切にしていきたいと思いました。たまにニュースで税金を払わない人などを見るけど、きちんと払ってほしいと思います。

新聞を作ってみて、税金がすごく大切なものだと分かりました。身の周りにあるたくさんの税金が使われた物などを大切にしていきたいと思います。18才以上の人が選挙権をもてるそうなので、私も18才になったら行こうと思います。これからも税金を大事にして、たくさん調べていきたいです。

みんなの発表を聞いて、税金の使い道や歴史が分かりました。ぼくは、税金の種類を調べていろいろな税金を知れてよかったです。大人になったら、多くの税金を払わなければならないことも知りました。

7 研究のまとめと課題

(1) 成果

- ・総合的な学習の時間に位置づけたことで、学習時間を確保できた。
- ・朝会の校長講話の中でお話しいただいたことで、6年生だけではなく、低学年も「税金」という言葉に触れることができた。
- ・租税教室を2回実施したことで、より理解が深まった。1回目は「税金とは何か」を理解させ、2回目は「さらに調べてみたいこと」で疑問に思ったことを解決することができた。
- ・実践授業で自分たちの学校にたくさんのお金（税金）が使われていることを知らせたことで、「大切に使おう」という意識が高まった。
- ・税について自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習により、興味・関心を高め、税がどのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させることができた。

(2) 課題

- ・調べ学習をする上で、参考となる資料や図書等をもっと準備できればよかった。
- ・6年生の総合的な学習の中に位置づけたが、他の学年との系統性という意味ではまだまだ課題が見られる。

8 今後の展望

- ・11月後半の授業参観で、今回学習して分かったことを保護者に向けて発表する予定である。そして、家庭でも更に話題にしてもらいたいと思っている。
- ・これから学習する社会「わたしたちの生活と政治」の中で、わたしたちの願いをかなえるために税金が使われているということも学習し、将来の納税者としての意識も育んでいこうと考えている。

平成28年度 租税教育に関する研究発表要項

山元町立山下第二小学校

教諭 渡部 史郎

1 研究主題

未来の納税者を育てる指導の一試み

～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～

2 主題設定の理由

小学6年生の税に関する知識は、歴史の中で学習した「租・調・庸」や「年貢」、「地租改正」などについてがほとんどであり、日本国憲法についての学習もまだであることから、納税が国民の義務になっていることも知らない児童が多い。また、現代の税制については、消費税という言葉は知っているが中身については知らないというのが現状である。まだ、働いて納税をしていないので税に関する知識はなくて当たり前だと考えた。

そこで、未来の納税者を育てるために、税に関して興味・関心を持ったことを中心に調べ、税の役割や意義を自分なりにまとめたり、友達と考えを共有したりすることで、税は必要なもので、みんなで少しずつ負担していくという考え方を持たせられると思い、本単元を設定した。

3 研究の目標

児童一人一人が、税に関する課題を自ら設定し、調べる活動を通して、税に関する意義や役割を理解することで、未来の納税につながるような指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税の学習の導入として、「租税教室」を行う。
- (2) 「租税教室」で興味・関心を持ったことや疑問に思ったことから調べる課題を設定する。
- (3) 課題についてインターネットや本を使って調べ、自分なりに解決する。(1回目)
- (4) 1回目の調べ学習でさらに調べてみたいことを設定し、インターネットや本で調べ、自分なりに税に関して分かったことや考えたことをまとめる。(2回目)
- (5) 自分が調べたことを学級全体で発表し、考えを共有する。また、身近に税が使われていることを知る。
- (6) 自分で調べたことや考えを共有したことをもとに、リーフレットを作り、発表会をし、税に関する意識の変容をまとめる。

5 研究の計画

平成28年 6月	租税教室(講師 鈴木建設社長 鈴木さん)
9月	授業実践(総合的な学習)
10月	授業実践(総合的な学習) 研究のまとめ
11月	研究発表会

6 研究の概要

(1) 学習計画 (総合的な学習の時間 10時間)

次	主な学習活動	時数
1	・租税教室 (講師 鈴木建設社長 鈴木さん)	1
2	・租税教室を受けて, 調べてみたいと思ったことを考え課題を設定する。	1
	・調べ学習を行い, 自分の課題を解決し, さらに調べてみたいことを考え, 課題を設定する。【調べ学習1】	2
	・調べ学習を行い, 自分の課題を解決し, 税に関して分かったことをまとめる。【調べ学習2】	2
	・調べたことを発表し, 考えを共有する。また, 身近な税の使われ方について知る。	1
3	・これまで学習したことをリーフレットにまとめる。	2
	・発表会をする。	1

(1) 実践の概要

【第1次】租税教室 (平成28年6月3日)

講師 鈴木建設社長 鈴木さん

内容 ・VTR教材「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
 ・税金と役割の大切さについて
 ・暮らしの中での税金の使われ方について



税に関しては, 初めての学習であった。VTRを見たり, 講師の先生の話の聞いたりして, 基本的な知識を得ることができた。とても集中して学習しており, 児童にとって興味がある内容だったようである。この学習の感想などをもとに課題づくりを行った。

○租税教室後の児童の感想等

「税金について考えよう」

6年1組 名前

1 今日の学習で一番興味があったことは何ですか。

税金の種類

2 今日の学習で, 「税金」について分かったことを書きましょう。

税金はいらぬと思っていたけど税金がないとたいへんなことになるんだなと思いました。

3 「税金」についてもっと知りたいと思ったことを書きましょう。

他にどのような税金があるか知りたいです。

「税金について考えよう」

6年1組 名前

1 今日の学習で一番興味があったことは何ですか。

税金の種類がたぐひあつてびっくりした。
初めて知った税金の名前もたぐひあつた。

2 今日の学習で, 「税金」について分かったことを書きましょう。

税金はあまり必要はないと思っていたけど今日みて必要だと思った。

3 「税金」についてもっと知りたいと思ったことを書きましょう。

税金の種類がいっぱひあつたからよく知りたい

【第2次】

① 課題づくり

租税教室を受けての感想や自分で調べてみたいと思ったことをもとに課題づくりを行い、自分で調べる方法も併せて考えた。「税の使われ方」や「税の種類」について調べたいと考えた児童が多かった。

○児童の課題づくりより

「税金」について考えよう！

氏名 _____

○単元の目標
自分なりに調べたり、考えたりして、「税金」とはどんなものなのかまとめる。

今日の学習
めあて 1回目の学習から「税金」について、自分で調べてみたいことを考え、学習の計画を立てる。

○自分で調べてみたいと思ったこと（できるだけ詳しく、どんなことなのか具体的に！）

税金の種類をもっと調べたい。
税金の行き先を調べたい。
(使われ方)

○調べる方法

資料 ・パソコン

「税金」について考えよう！

氏名 _____

○単元の目標
自分なりに調べたり、考えたりして、「税金」とはどんなものなのかまとめる。

今日の学習
めあて 1回目の学習から「税金」について、自分で調べてみたいことを考え、学習の計画を立てる。

○自分で調べてみたいと思ったこと（できるだけ詳しく、どんなことなのか具体的に！）

税金の種類、数、名前、歴史、金額

○調べる方法

パソコン

《租税教室を受けての課題づくりの例》

② 調べ学習1

自分で立てた課題についての調学習を行った。「国税庁ホームページ税の学習コーナー」や「税を学ぼう 富山県租税教育研究会」などのホームページを利用して調べている児童が多かった。また、さらに調べてみたいと思ったことから課題を作り、調べ学習2につなげた。

○児童の調べ学習より

10/4 good! 「税金について考えよう」
6年1組 名前 _____

1 今日の学習で調べたことを書きましょう。(自分でわかるように自由に書いていいです。)

税金の使われ方 → 国に入ってくるお金の約6割は税金
国会では、選挙で選ばれた国民の代表者が話し合せて、予算や税金の使われ方を決める

なぜ税金がないと大変なのか？

- 火事になっても消防車が来ない
- 病人がいるのに救急車が来ない
- ごみの収集がないのでゴミがたまる
- 教科書やつくえ、黒板などが壊れたら修理ができない
- 警察官がいなくてまちが守れない

病院代が高くなる 457億2000円
交通の便が悪い 税金
市バスや地下鉄が来ない 793億6529万84円

- 府県会計予算

《税の使われ方に関する調べ学習の例》

10/18 goal!

「税金について考えよう」
6年1組 名前

1 今日の学習で調べたことを書きましょう。(自分でわかるように自由に書いていいです。)

名称	種類	課税の対象	負担	納付先	納付期限	備考
法人税	国税	利益	会社	税務署	決算日後2ヶ月以内	中間※19% (※)
事業税	地方税	利益等	会社	市町村	市町村で異なる	市町村で異なる
住民税 (会社)	地方税	利益	会社	市町村	市町村で異なる	市町村で異なる
消費税	国税	会社の消費	会社	税務署	市町村で異なる	地方消費税が含まれる
固定資産税	地方税	保有する資産	会社	市町村	市町村で異なる	課税区分は市町村による
源泉所得税	国税	従業員の所得	従業員	税務署	毎月10日	なし
住民税 (従業員)	地方税	なし	従業員	市町村	一括納付、分割等	なし

国の 4/7

10/18 goal!

「税金について考えよう」
6年1組 名前

1 今日の学習で調べたことを書きましょう。(自分でわかるように自由に書いていいです。)

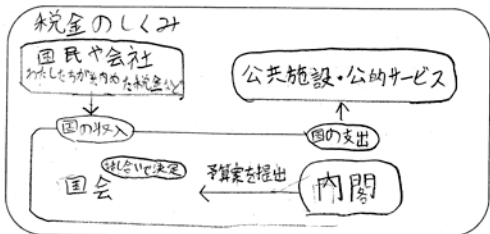
国に納める税

- 所得税 (個人の1年間の所得に対する税)
- 相続税 (亡くなった人から財産を受けついでにかかる税)
- 消費税 (商品・製品の販売やサービスの提供などの取引の時にかかる税)
- 酒税 (酒などの製造場から出荷した時にかかる税)
- たばこ税 (たばこを製造場から出荷した時にかかる税)
- 印紙税 (税法に定められた文書を作成した時にかかる税)
- 登録免許税 (不動産、会社の登記、登録、特許などの時にかかる税)
- 関税 (外国から輸入した貨物にかかる税)

県におさめる税

- 事業税 (個人、法人ともに事業を営んでいるときの所得金額税又は、収入金額に応じてかかる)

《税に種類に関する調べ学習の例》

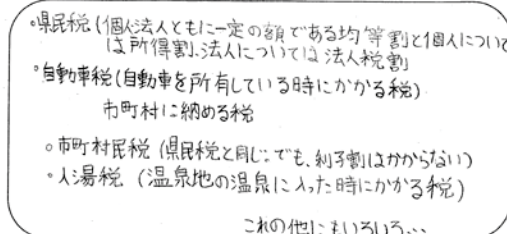


2 今日の学習の感想を書きましょう。

パソコンで調べて、税金についていろいろ知ることができた。税金の種類があるんな種類もあってびっくりしました。

3 今日学習してさらに調べてみたいと思ったことを書きましょう。

外国の消費税や昔の税金について詳しく調べたい。



2 今日の学習の感想を書きましょう。

こんなに税金があるなんて知りませんでした。たくさん知れてよかったです。次は、歴史を調べたいです。

3 今日学習してさらに調べてみたいと思ったことを書きましょう。

次は歴史を調べてみたいですね。

《1回目の調べ学習後の課題づくりの例》

2回目の調べ学習への課題は、税の種類や使われ方の他に、歴史や外国についてなど1回目より広がりを見せた。興味が高まったと考えられる。

③ 調べ学習 2

調べ学習 1 でさらに調べてみたいと思ったことや疑問に思ったことについて調べた。また、この段階で1回目のまとめを行い、分かったことや考えたことを整理し、次の学級全体での考えを共有することに生かすようにした。

○児童の調べ学習より

「税金について考えよう」パート2

6年1組 名前

1 1回目の調べ学習で課題に残ったこと、さらに調べてみたいと思ったことを書きましょう。

昔は、犬税や関口税、ひげ税なんかもあった。
 ○3世紀ごろに『魏志倭人伝』に、日本の税に関する最初の記録がある。そこには 邪馬台国では税が納められていたと記されている。(邪馬台時代)
 ↓
 ○大化の改新では、新しい租税制度を含む政治の方針が示された。農民に田を写入るかわりに、租・庸・調・雑徭という税ができた。(飛鳥時代)
 ↓
 ○平城京ができた710年ころには、都と地方を結ぶ道路が整備され税を運ぶのにも利用された。(奈良時代)
 ↓
 ○班田収授の法がくずれ荘園が各地にできた。荘園を管理する領主から農民に年貢、公事、天役という税が課された。(平安時代)
 ○農業技術の進歩や商工業の発達とともに、地子、段銭、株別銭、津料、閉銭という、新しい税が課された。(室町時代)
 ○守護、地頭は税を取り立てる権利が与えられた。あと、座(同業組合)が作られ生産、販売を独占する代わりに座役という税ができた

《税の歴史に関する調べ学習の例》

「税金について考えよう」パート2

6年1組 名前

1 1回目の調べ学習で課題に残ったこと、さらに調べてみたいと思ったことを書きましょう。

学習に必要なもの
 教科書や教室にあるパソコン、実習器具や体育用具などに
 (公立の小・中学校の先生の報酬にも税金が使われている)
 宇宙開発や科学技術の発展にも税金が使われている。
 上下水道の整備も使われている
 道路を整備するのに税金
 公園、港、空港などの整備、森林を守る活動、消防やけいさつの活動、ゴミの回収と処理

《税の使われ方に関する調べ学習の例》

「税金について考えよう」パート2

6年1組 名前

1 1回目の調べ学習で課題に残ったこと、さらに調べてみたいと思ったことを書きましょう。

外国の消費税

気づいたこと
 デンマークやスウェーデンなど消費税が20%を超える国もある。日本は世界の中で消費税が低い。

税の決り
 1 日本の憲法で国民は、法律の定めるところにより納税の義務を負ふと決められています。これは納税の義務といふ活動の義務、教育の義務とらんで国民の三大義務の一つとされています。

《外国の消費税に関する調べ学習の例》

1回目の調べ学習で税の種類について調べた児童は、2回目の調べ学習では、税の使われ方について調べた児童が多かった。中には、外国の税制や消費税について調べた児童もあり、学習への意欲の高まりを感じた。

調べ学習を行い、全体でのまとめに入る前に個人で考えたことをまとめた。

○児童のまとめより

2 今日の学習の感想を書きましょう。

税金は今と昔ではちがうことにびっくりした。
でも税金はかならずおさめないといけない
というところはかわらないんだなーと思った

3 2回の調べ学習で「税金」とはどんなものだと思いますか。

税金では必ず納めなきゃいけないもので、病気にい
なな時などに必要になるもの。
社会を支えるためのものだと思います。
税金は国民のためにあるもの

2 今日の学習の感想を書きましょう。

税の歴史をたくさん知ることができて、よかったし、
おもしろかったです。

3 2回の調べ学習で「税金」とはどんなものだと思いますか。

税金は人間にとって大切なものなんだと思いました。
昔から
「税金」の事をたくさん知れて、よかったです。

この段階で大部分の児童が、税の必要性について改めて気付いたり、考えたりすることができていた。

税に関して、児童の興味・関心をもとに課題解決学習を行ってきたが、自分の課題を解決していく過程で、税について十分考えることができたと思う。

中には、「税を納める」という言葉を使うようになった児童もおり、とても感心した。

2 今日の学習の感想を書きましょう。

税の使い道はいろいろありとてもむずかしいな
と思いました。

3 2回の調べ学習で「税金」とはどんなものだと思いますか。

税金は学校やくらしには、使われていることが
分かった。
税金はくらしにあった方がいいですけど、つなぞが
うかなくて困るのは、きずななことになるからです。

2 今日の学習の感想を書きましょう。

いろいろ税金にも使われ方があるんだなと
思いました

3 2回の調べ学習で「税金」とはどんなものだと思いますか。

税金はいろいろな種類があっていろいろな使われ方
があるんだと思いました

2 今日の学習の感想を書きましょう。

外国の消費税についてくわしく知れたので良かったです。
知らないことがたくさん分かりました。

3 2回の調べ学習で「税金」とはどんなものだと思いますか。

税金についてたくさんことを知れた。
税金はいろいろなことに役に立つことが分かった。
大切なものだと思いました。

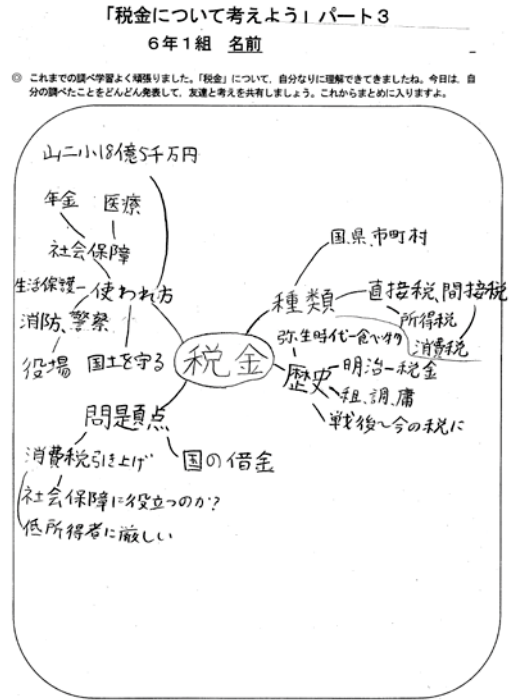
④ 情報の共有

各自が調べたことを全体で発表することで、考えを共有する場面を設けた。自分が調べたことだけでなく、友達の調べたことを知ることで、さらに税に関する知識を広げ、まとめに生かせるようにした。

○まとめより

黒板の中央に税金と書き、児童にどんどん調べたことを発表してもらい、それぞれの考えを共有した。

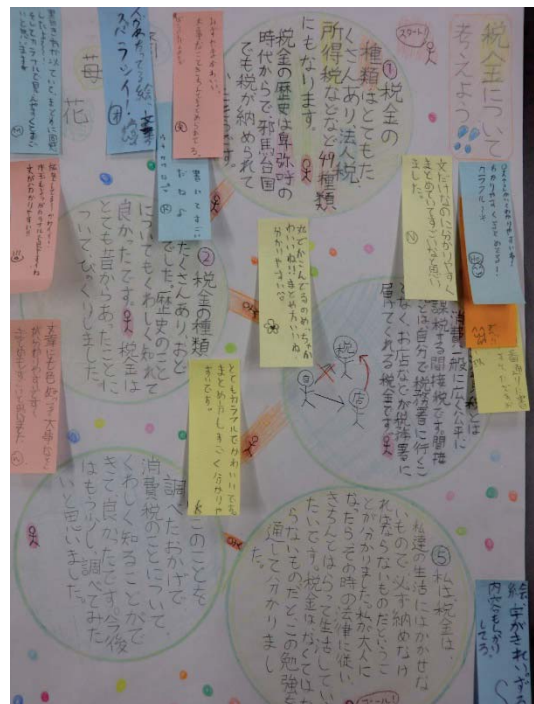
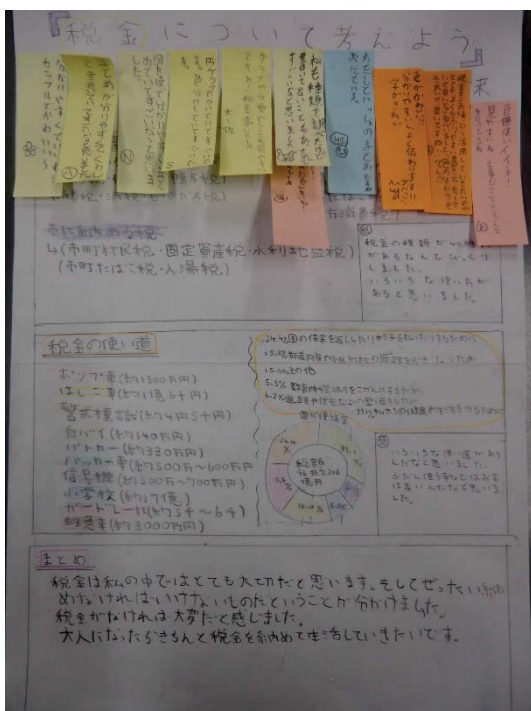
また、本校が今年度新築されたことにも触れ、警察や消防だけではなく、本当に身近なところで税が使われていることを改めて確認した。



【第3次】

① リーフレットにまとめる

これまで調べたことや情報を共有したことをもとに、リーフレットにまとめた。今回の調べ学習でわかったこと、学習を通して税に関して思ったことや考えたことをまとめるようにした。



② 発表会

リーフレットを机の上に置き、各自が付箋を持ち、友達が作ったものに感想を書く形での発表会を行った。友達の学習の成果を見たことを含めての学習のまとめは次の通りである。



《友達のリーフレットを読んで、感想を書く様子》

○児童のリーフレットのまとめより

まとめ①

この勉強をする前は、税金は消費税ぐらいしかわかりませんでした。でもこの勉強をしてから、使われ方などいろいろな税金の仕組みがわかりました。大人になったら、納税をきちんとしようと思います。

まとめ②

税金はみんなで社会を支えるための「会費」だと思う。そのため税金は私たちの生活に必要不可欠であり、世の中にあるべきものなのである。今後からは、税金の大切さについて考えていくべきではないだろうか。

まとめ③

私は、税金は必要ないと思っていたけど調べてみてからはすごく大切なんだなあと思いました。なので、大人になったらちゃんと払っていきようと思います。

まとめ④

私は税金は、私たちの生活には欠かせないもので、必ず納めなければならないものだということがわかりました。私が大人になったらその時の法律に従い、きちんと払って生活していきたいと思っています。

まとめ⑤

税金は日本にとってものすごく必要なお金だと思った。税金がなければ今の世の中はなかったと思う。小学校や中学校、高校も税金で建てられたと初めて知って、納めてくれた人に感謝したいと思った。大人になったら自分たちが納める番になるので、きちんと納めていきたいと思った。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- 学習の導入で「租税教室」を行うことによって、児童が税に関して興味を持つことができ、今回の学習のよいきっかけになった。児童が調べてみたいという意欲を持つことができ、事後の調べ学習につなげることができた。
- 調べ学習を2回行ったり、友達の調べたことなどの情報を共有したりすることで、より税に関する内容を深めることができた。
- 税は、国民の生活に深くかかわるものであることや必要なものなのでみんなで負担することなどの考えを身に付けることができた。

(2) 課題

- 今年度発表校ということで、総合的な学習の時間に10時間位置付けて学習を進めたが、租税教育の学習を充実させるために今後どのように年間指導計画に位置付けていくのか考えていく必要がある。
- 小学生にとって納税はまだ、現実的なものではない。これから年齢が上がるにつれ納税者に近づいていくので中学、高校とどのように租税教育をつないでいくのか、どう連携を取っていくのが大切であると思った。

租税教育実践発表一覧（昭和62年度～平成3年度）

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
昭和62	名取市立増田小学校	伊 藤 清 子	国民の生活の安定と向上を図るために、国民の三大義務のひとつである納税の義務を深く認識させる
	岩沼市立岩沼南小学校	千 葉 宗 久	租税に対する関心を高めるための指導のあり方についての一考察
	亶理町立逢隈小学校	堀 川 達 也	基本的人権の尊重が民主政治の根本であり、納税の義務はこれらの権利の見返であることを理解させる
	山元町立坂元中学校	佐 藤 光 雄	租税の役割と納税の義務の意味についての理解を深めさせる
	秋保町立秋保小学校	榊 井 裕	国の事業活動を通して、税の必要性や仕組みを理解させる
昭和63	名取市立関上小学校	小 暮 出	社会科教育の中で、租税の重要性を指導し、公共心・協調心に結び付け、これらを実践できる人間性を目標とした指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	鈴木 啓 二 郎	金融と財政の働きの中で、租税と国民生活の関わりについての指導から税の意識の向上を図る
	亶理町立吉田小学校	今 野 喜 代 子	福祉関係等身近な事例を上げて税の重要性を指導し、最後に税の作文を通じて自覚をさせる
	山元町立山下中学校	菅 野 敏 郎	税に関するもの三点を上げさせ、これについて公民教育で考察することによる租税教育の実践
平成元	名取市立増田中学校	小 野 政 稔	租税の働きやしくみを理解させ、納税の義務を自覚させる
	岩沼市立岩沼西小学校	菊 地 真 勇 美	私たちの生活と政治の中から、租税について理解させる
	亶理町立吉田中学校	菊 地 嘉 昭	税に関する作品の応募から、財政と国民生活について指導
	山元町立坂元小学校	佐 藤 広 実	租税の簡単なしくみから、租税への関心を高めさせる指導
平成2	名取市立増田西小学校	鎌 田 彰 郎	産業廃棄物処理に関する学習の中で、税金の働きについてふれ、税の重要性を認識させる
	岩沼市立岩沼中学校	樋 口 英 明	財政を支える財源である租税の異議や役割を、経済の実態と動向にからませながら、税の重要性を理解させる
	亶理町立高屋小学校	太 田 久 仁 男	税金によって作られた公共物や学校施設を大切にす態度を育てる指導の工夫
	山元町立山下中学校	江 戸 寿	税金を正しく理解させるため、視覚教材を利用しながら見せる教育の実践
平成3	名取市立名取第二中学校	清 野 ひ さ 子	国民生活の中で、租税の働きを正しく理解させるための指導
	岩沼市立岩沼小学校	山 田 健 一	一人ひとりを大切にす政治の指導の中で、権利と税との関わりを考えさせる指導の実践
	亶理町立亶理中学校	本 間 和 哉	税に対し、生徒が主体的な活動により、興味・関心を持たせる指導の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐々木 恭 也 小 関 尚 子	一人ひとりが健康で幸せな生活を送るために、税金は、どのように使われているかを理解させる

租税教育実践発表一覧(平成4年度～平成8年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成4	名取市立不二が丘小学校	丸 子 智 子	快適で豊かな生活を送るために税金はどのように集められ、また、どう使われるのか、自ら調べさせ理解させる指導
	岩沼市立岩沼北中学校	鈴 木 尚	租税の働きや仕組みを把握させ、正しい租税制度の在り方を理解させる指導
	亶理町立亶理小学校	木 村 和 正	税金が一人ひとりの生活に役立っていることを理解させる指導の工夫
	山元町立山下小学校	岩 佐 美 保 子 佐 藤 真 一	将来の自分や国を考えるために、税についての知識を深め、税の社会的意義を考えるとともに、興味・関心を持たせるような指導の工夫
平成5	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	国民生活に大きな影響力をもつ、財政を支えている租税の意義を理解させ、また、税金は共同社会を維持するための会費であることに気付かせる指導の工夫
	岩沼市立玉浦小学校	渡 邊 清 孝	問題意識を持ち、自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する興味・関心を高めさせる指導
	亶理町立吉田中学校	永 浦 晴 久	金融と財政の働きを租税教育の中心場面ととらえ、消費者としての私たちと関連させ、税をより身近なものとする指導の工夫
	山元町立中浜小学校	近 藤 英 人	児童一人ひとりに生活の中で、自分が税に対しどう関わっていけばよいかと考えさせる指導の工夫
平成6	名取市立館腰小学校	高 橋 壽 子	問題意識をもって、自ら調べ解決する学習により、児童の税に対する関心を高めさせる税の意義と役割を理解させる指導の工夫
	岩沼市立岩沼西中学校	横 山 純	財政収入は租税を中心に成り立っていることを理解させ、納税の義務を負う国民のあり方について考えさせる指導
	亶理町立長瀬小学校	大 沼 仁	税金の必要性とその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫
	山元町立山下第一小学校	大 沼 毅	児童自ら税に対する課題意識を持たせ、調査し解決していく活動から、税の意義を理解させ、公共社会での責任と義務を培わせる指導の工夫
平成7	名取市立愛島小学校	石 川 峰 生	子供の租税に対する関心を高めさせる指導の工夫
	岩沼市立岩沼小学校	大 沼 毅	税制度の理解を通して、公共社会での助け合いに対して、興味・関心を高めさせる指導の工夫
	亶理町立荒浜中学校	田 原 満	租税の意義と目的を理解させる指導を通して、税への関心を高める指導の一考察
	山元町立坂元小学校	菅 原 裕 子	税金の仕組みとその使われ方を理解させる指導を通して、税に対する関心・理解を高めさせる指導の工夫
平成8	名取市立館腰小学校	芳 賀 佳 恵	課題意識を持ち自ら調べ解決する学習活動を通して、児童の税に対する関心を高めるための指導の在り方
	岩沼市立岩沼南小学校	菊 地 真 勇 美	税金は人々のくらしとどのように結びついているのかについて、身近な事例から気づかせ、納税の大切さを理解させる指導の工夫
	亶理町立荒浜小学校	佐 々 木 洋 美	計画・調査・発表を取り入れた学習活動を通して、児童の税に対する理解を深める指導の一考察
	山元町立坂元中学校	成 毛 毅	消費税と財政政策との関係をとらえて、税への関心を高める社会科公民的分野指導の一考察

租税教育実践発表一覧(平成9年度～平成13年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成9	名取市立増田小学校	高 橋 千 佳	税に対する意識・関心を高めるための指導 ～6年『みんなの願いを実現する政治』の指導を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	長 澤 裕 司	税への関心を高め、税を見る目を養う指導の一考察 ～税の公平性を考える討論活動を通して～
	亶理町立逢隈中学校	菊 地 幸 子	社会科学習における租税教育の在り方と指導方法の工夫
	山元町立山下中学校	佐 藤 泉	税に対する理解を深める指導の一考察 ～財政の学習を通して～
平成10	名取市立不二が丘小学校	杉 田 由 英	児童の税に対する関心を高めるための指導 ～6年『みんなの願いを実現する政治』の指導を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	及 川 浩 芳	社会科における租税への認識を高める指導の工夫 ～各分野において、身近な資料を活用し、税の必要性を理解させる指導を通して～
	亶理町立逢隈小学校	鈴 木 健	自分なりの課題を持ち、自分なりの方法で調査や課題解決を行い、自分なりの方法で表現していく子供の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 真 一	小学5年生の税に対する興味・関心を高めさせる指導計画の工夫
平成11	名取市立下増田小学校	高 橋 宏 明	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら調べ表現する活動を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	水 沼 久 美 子	児童の税に対する関心を高めるための指導と学習計画の工夫
	亶理町立亶理中学校	星 和 敏	租税への関心を高めるための指導の工夫
	山元町立山下小学校	阿 部 広 力	小学校4年生の社会科学習における租税教育の効果的取り扱いについて
平成12	名取市立関上小学校	赤 沼 隆 史	児童の税に対する関心を高めさせる指導の工夫 ～自ら課題意識をもって調べる活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	内 海 郁 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導法の工夫 ～学び方を学ぶ学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 隆	問題意識を持ち自ら学ぶ児童をめざして ～6年社会科の税金学習を通じた実践と考察～
	山元町立中浜小学校	阿 部 優 子	税に関することながらを主体的に学習させるための工夫
平成13	名取市立高館小学校	佐 藤 真 理 子	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～住みよい「〇〇王国」作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼小学校	高 橋 悟	児童の税に対する興味・関心を高め、主体的に学習できるための指導の工夫
	亶理町立高屋小学校	大 槻 裕 史	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～課題意識を持って自ら解決する活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	佐 藤 尚 利	学校のプールが新しくなったよ！ ～税金博士を目指して～

租税教育実践発表一覧(平成14年度～平成18年度)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成14	名取市立増田西小学校	鈴木 和 彦	児童の税に対する関心を高めるための指導の工夫 ～租税に関するニュース番組作りの活動を通して～
	岩沼市立玉浦中学校	大 堀 真 澄	税の関心を高め、理解を深める指導の一考察 ～租税に関する討論活動を通して～
	亶理町立亶理小学校	大 森 実	社会科との関連をはかった租税教育の試み ～税に関する興味・関心を育む単元の工夫を通して～
	山元町立坂元小学校	高 倉 成 行	児童が税に対する興味・関心を持つための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなんだ」の活動を通して～
平成15	名取市立ゆりが丘小学校	松 浦 和 浩	学年ごとの児童の実態に応じた効果的な租税教室のあり方
	岩沼市立玉浦小学校	柴 田 新 二	税に関する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む指導の工夫 ～税についての調べ学習、未来の玉浦を考える活動、道徳を通して～
	亶理町立吉田中学校	小 嶋 幸 生	租税に関する興味・関心を高める指導法の工夫
	山元町立山下第二小学校	佐 藤 孝 志	税の学習を取り入れた総合的な学習の時間の指導の一考察 ～「未来の山元町を考えよう」の活動を通して～
平成16	名取市立増田中学校	渡 邊 義 行	公民の学習における租税への関心を高める指導の工夫
	岩沼市立岩沼北中学校	瀬 成 田 実	税への関心を高め、思考を深める指導法の工夫 ～適切な資料展示や討論活動をとおして～
	亶理町立長瀬小学校	西 澤 勝 雄	社会科学習及び総合的な学習における租税教育の効果的な指導の一考察 ～4年社会科「住みよいくらしをささえる」、5年総合的な学習「わたしたちの亶理町を考えよう」の活動を通して～
	山元町立山下小学校	平 間 正 信	自分らしさを発信する子ども ～学んだことを発信する学習を通して(小学5年生の実践)～
平成17	名取市立関上中学校	大 宮 潤	租税への関心を高める指導法の工夫 ～3年間を見通した租税教育～
	岩沼市立岩沼西小学校	建 入 文 夫	租税について考え、正しく理解させるための指導法の工夫 ～租税に関する社会科の学習を通して～
	亶理町立荒浜中学校	佐 藤 秀 樹	公民としての資質を育てる租税学習の工夫 ～地域住民へのアンケート活動を通して～
	山元町立山下第一小学校	稲 垣 祐 子	税を通して山元町の良さを知り、発信する子どもの育成 ～総合的な学習の時間の活動を通して～
平成18	名取市立館腰小学校	相 原 直 人	税に関心を持ち税金の大切さを考えることのできる児童の育成 ～ぼくらの税金ホームページ作りを通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	森 本 直 樹 菅 原 正 弘	公民としての資質の基礎を養う租税学習の工夫 ～3学年公民での継続した学習を通して～
	亶理町立荒浜小学校	塚 口 誠	進んで学習に取り組む児童の育成 ～租税に関する学習を通して～
	山元町立山下中学校	仙 石 直 樹	租税について正しく理解し、主体的に考えることができる生徒の育成 ～3年公民分野における「タックスレポート」づくりを取り入れた学習活動の工夫を通して～

租税教育実践発表一覧(平成19年度～平成25年度) ※平成23,24年度は震災により中断

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成19	名取市立那智が丘小学校	大 友 幹 雄	税に関心をもち、税の社会的意義を考えることのできる児童の育成 ～税に関する新聞作りの活動を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	横 山 勉	児童が興味・関心をもつための指導の工夫 ～小学校4年生からの「税に関する学習」を通して～
	亶理町立逢隈中学校	長 田 康 宏	税に対する興味・関心を高める指導法の工夫 ～身近な地域素材の活用を通して～
	山元町立中浜小学校	日 下 泰 憲 西 澤 彰 子	児童の税に対する興味・関心を高めるための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「中浜の松ぼっくりから」の実践を通して～
平成20	名取市立第一中学校	小 鴨 幸 生	租税への関心を高める指導法の工夫 ～身近な資料や租税に関する討論活動を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	長 澤 裕 司	租税への関心を高め、納税者としての自覚を培う指導の一考察 ～財政上の課題を考えさせる場面の工夫をとおして～
	亶理町立逢隈小学校	高 倉 成 行	税金の役割を理解させるための指導の工夫 ～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立坂元中学校	堀 内 恵 理 子	税に関心を持ち、主体的に社会とかかわろうとする姿勢の育成 ～3年公民的分野における租税学習を通して～
平成21	山元町立坂元小学校	清 野 政 子	児童が税に対する興味・関心をもつための指導の工夫 ～総合的な学習の時間「税金ってなに」の活動を通して～
	亶理町立亶理中学校	浦 邊 盛 勝	『税に対する興味・関心を高め、発展させる指導法の工夫』～生徒自身の身近な素材の活用を通して～
	岩沼市立岩沼小学校	佐 久 間 秀 和	租税への関心を高める指導の一試み ～小学校6学年社会科「日本の歴史」での税の学習と「租税教室」の実践を通して～
	名取市立第二中学校	丹 野 光 洋	『納税者としての意識を高めるための指導法』 ～租税教室や様々な資料で学んだことを基にした消費税に関するディベートを通して～
平成22	名取市立相互台小学校	大 沼 史 柄	『租税への関心を高めるための指導の工夫』 ～公共施設から税金を考える～
	岩沼市立玉浦中学校	山 田 洋 子	『税の必要性についての意識を高めるための指導法の工夫』～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立吉田小学校	渡 辺 英 明	『身近なことから税金の意義や役割を理解させる指導法の工夫』～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	山元町立山下第二小学校	針 生 武 宏	『身近な生活での税に関心をもち、税の大切さを考えることのできる児童の育成』～総合的な学習の時間「山元町の未来を考える」の学習を通して～
平成25	名取市立増田小学校	佐 藤 真 一	『税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫』 ～自ら調べ、主体的に税を考える学習を通して～
	岩沼市立岩沼西小学校	管 野 千 里	『税金の役割と必要性を理解できる児童を育成するための指導の工夫』～小学校6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習を通して～
	亶理町立高屋小学校	小 松 晃	『税金の大切さを考えることのできる児童の育成』 ～総合的な学習の時間「人権福祉」学習-だれもが幸せに生きる町づくりを通して～
	山元町立山下中学校	太 田 侑 吾	『租税への興味・関心を深化させる指導の工夫』 ～山元町の復興に関する取り組みを通して～

租税教育実践発表一覧(平成26年度～)

年 度	学 校 名	担 当 教 諭 名	テ ー マ 名
平成26	名取市立不二が丘小学校	清 野 秀 和	「租税への関心を高めるための指導の工夫」 ～第6学年 総合的な学習の時間「税金について考えよう」の学習を通して～
	岩沼市立岩沼西中学校	阿 部 幸 子	「租税への関心を高め意義や役割を理解させる指導法の工夫」 ～租税教室や身近な資料の活用を通して～
	亶理町立亶理小学校	酒 井 久 美 子	「町民の願いを実現するために税金が果たす役割を理解させる指導の工夫」 ～「総合的な学習の時間」と6学年社会科「わたしたちの願いを実現する政治」の学習との関わりを通して～
	山元町立坂元中学校	渡 邊 淳 一	「将来の納税者としての意識を育む税金学習」
平成27	名取市立関上中学校	荒 川 美 貴	「積極的納税者を育むための指導の工夫」 ～税の使い道についての学習や租税教室の活用を通して～
	岩沼市立岩沼南小学校	丸 谷 由 浩	「未来の望ましい納税者を育てる指導の実践」 ～税金に対する正しい知識を身に付け、正しく納めようとする態度を養う指導を通して～
	亶理町立吉田中学校	妹 尾 文 男	「納税者意識を高める指導の工夫」 ～生徒の疑問を大切に授業づくりと税について考える機会を増やす実践から～
	山元町立坂元小学校	佐 竹 聡 子	「税金の役割を理解し、税金の必要性を感じられる児童の育成」 ～「坂元の復興と税金とのかかわり」を考える学習を通して～
平成28	名取市立下増田小学校	手 塚 英 海	「税に対する知識を深め、健全な納税者を育てる指導の実践」 ～主体的に課題を設定し、探求する学習を通して～
	岩沼市立岩沼中学校	武 田 裕 光	「地方自治の学習を通して租税の意義と役割を理解させる指導の工夫」
	亶理町立長瀬小学校	武 田 清 美	「税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を理解しようとする児童の育成」 ～税について児童自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習から～
	山元町立第二小学校	渡 部 史 郎	「未来の納税者を育てる指導の一試み」 ～児童の「税」への興味・関心を生かした調べ学習を通して～

仙台南地区租税教育推進協議会 役員名簿

役 職	構 成 機 関	名 等	氏 名
会 長	亘理町教育委員会	教 育 長	岩 城 敏 夫
副 会 長	公益社団法人仙台南法人会	会 長	相 澤 十 四 男
	仙 台 南 税 務 署	副 署 長	千 葉 治 彦
常 任 幹 事	仙 台 南 税 務 署	総 務 課 長	海 野 義 則
幹 事	宮城県仙台教育事務所	所 長	高 橋 正 則
	岩 沼 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 課 長	佐 藤 修 司
	亘理町教育委員会	教 育 次 長 兼 学 務 課 長	鈴 木 邦 彦
	名 取 市 校 長 会 会 長	増 田 小 学 校 長	吉 木 修
	岩 沼 市 校 長 会 会 長	岩 沼 西 中 学 校 長	星 和 敏
	亘理町校長会会長	荒 浜 中 学 校 長	渡 邊 裕 之
	山 元 町 校 長 会 会 長	坂 元 小 学 校 長	作 間 勝 司
	仙 台 南 税 務 署 管 内 会 青 色 申 告 会 連 合 会	会 長	猪 股 弘 志
	仙 台 南 間 税 会	会 長	鈴 木 久 夫
	宮城県仙台南県税事務所	所 長	小 野 寺 明
	亘 理 町	税 務 課 長	西 山 茂 男
会 計 監 事	東北税理士会仙台南支部	支 部 長	三 野 宮 武 男
	仙 台 南 小 売 酒 販 組 合	理 事 長	藤 原 仁 昭

顧 問	名 取 市	市 長	山 田 司 郎
	岩 沼 市	市 長	菊 地 啓 夫
	亘 理 町	町 長	齋 藤 貞
	山 元 町	町 長	齋 藤 俊 夫
	仙 台 南 税 務 署	署 長	佐 々 木 伸

平成29年3月発行

発行者 仙台南地区租税教育推進協議会

事務局：仙台市太白区柳生2丁目28番2号（仙台南税務署内）

（022）306-8001 内線305